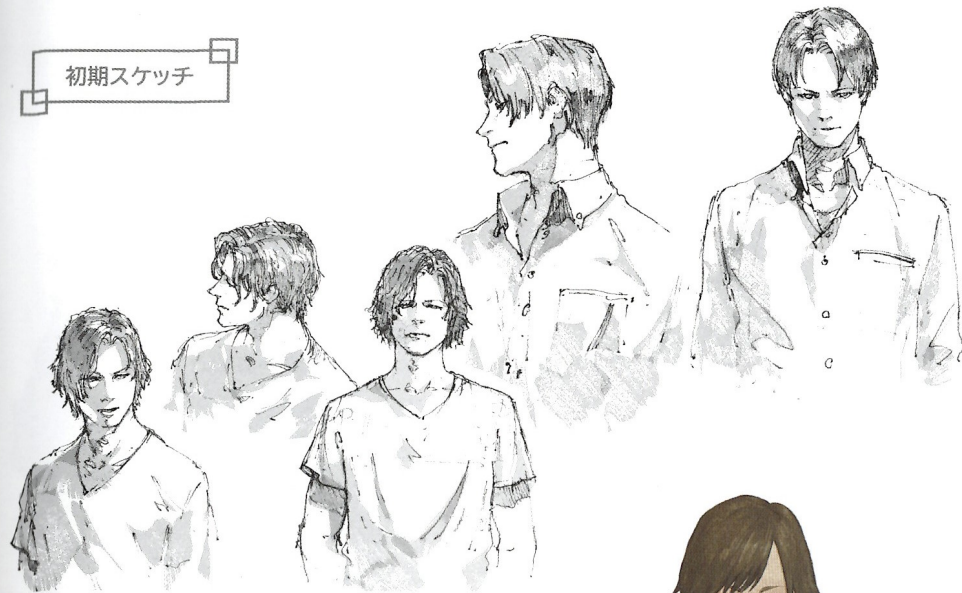
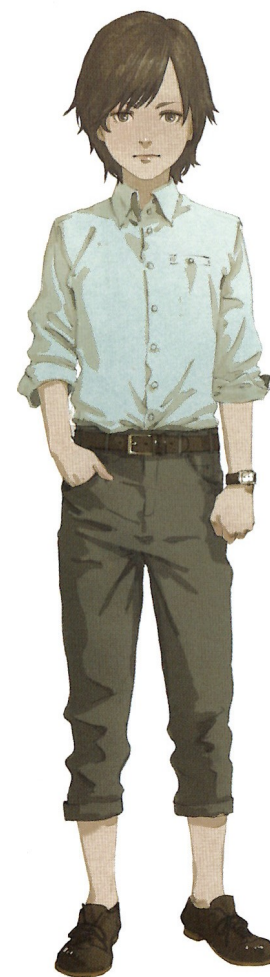
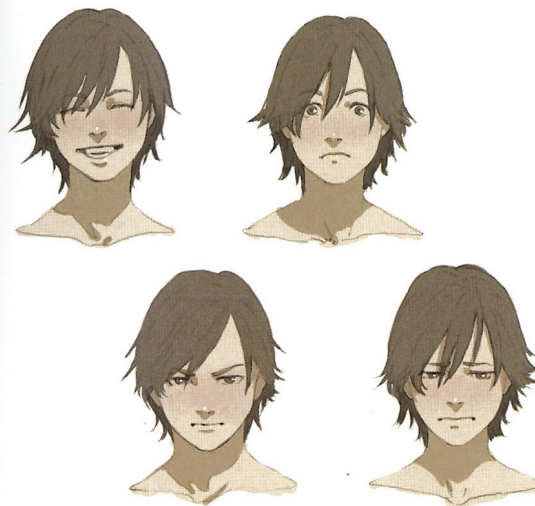
神宮寺　三郎

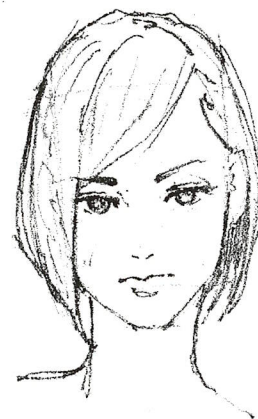
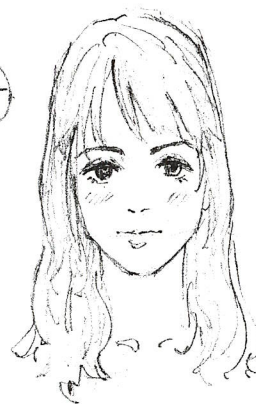
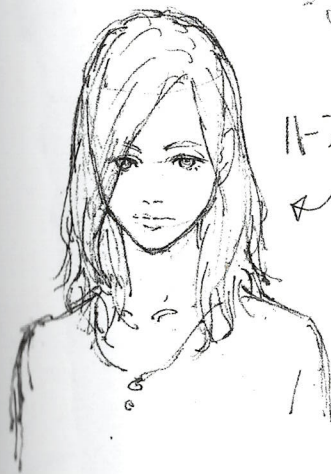
CV. 中村 悠一

本作の主人公。
祖父・京助の死をきっかけに渡米し、事件の背後に隠された真実を追い求める。幼い頃に京助から教わった思考術を武器に、数々の難事件を鮮やかに解明する。

初期スケッチ

少年期　CV. 若山 晃久

少年時代の三郎。
好奇心旺盛で祖父・京助のことが大好き。この時から物覚えや推理力は高く、大人顔負けな発言をすることも。
ニューヨークのサマースクールに参加したことで、とある事件に巻き込まれる。

御苑 洋子

cv. 藤村 歩

留学のためにニューヨークを訪れている日本人女学生。
非常に落ち着いており論理的な思考の持ち主。
見かけによらず大胆な一面もあり、三郎を驚かせる。
本を借りに度々ダンの部屋に訪れているが…？

初期スケッチ

神宮寺 京助

CV. 小杉 十郎太

三郎の祖父。
ニューヨークで探偵業を営む自由奔放な老人。
自分を慕う三郎のことを溺愛している。穏やかな性格で、
ニューヨーク中の人に愛されていた。考え事をする時は
甘いカプチーノを50杯ほど飲むらしい。

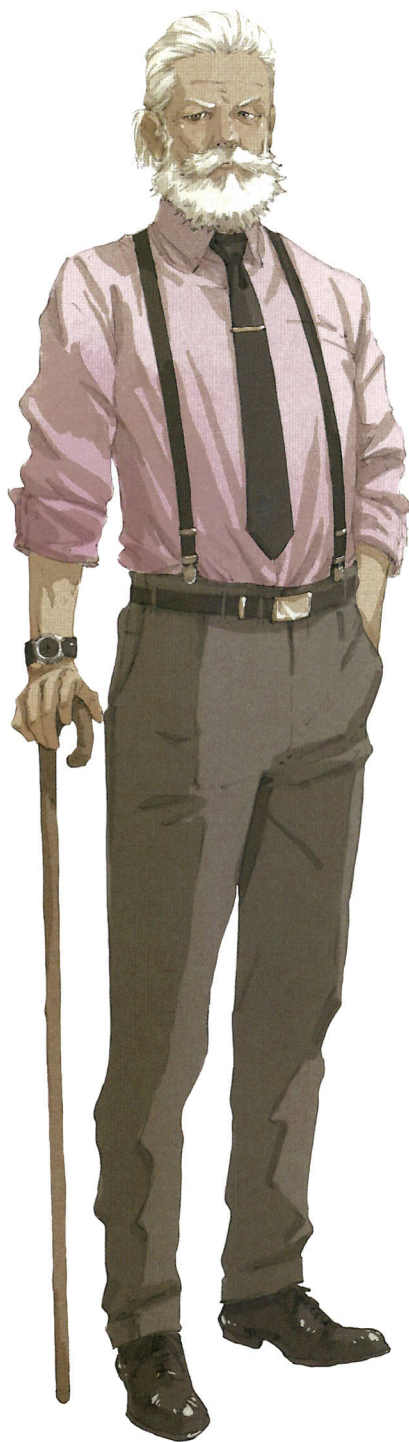
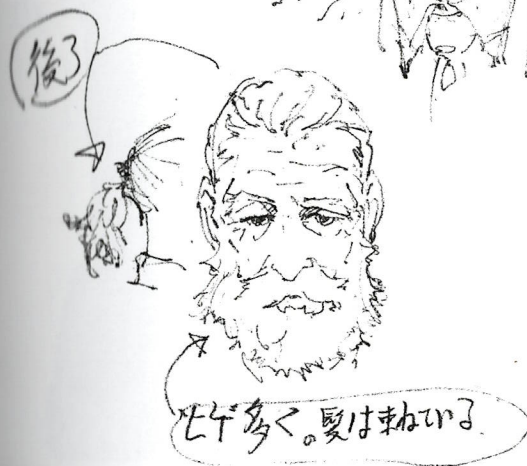
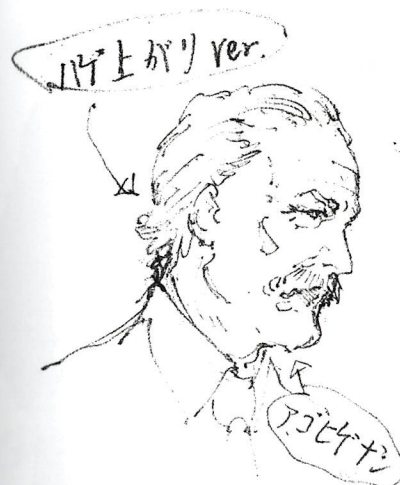
初期スケッチ

ハゲ上がりver.

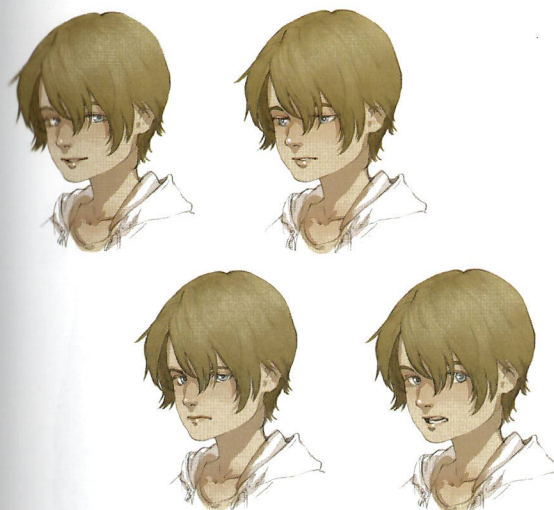
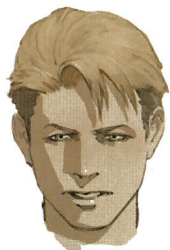
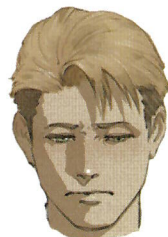
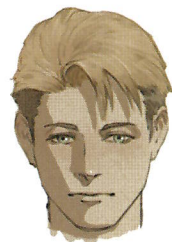
アゴヒゲナシ

ヒゲ短め。

後ろ

ヒゲ多く。髪は束ねている。

レオ（レオナルド・コリンズ）

CV. 石川 界人

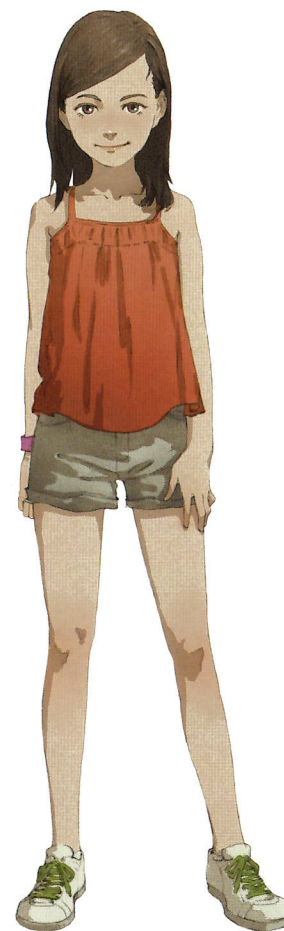
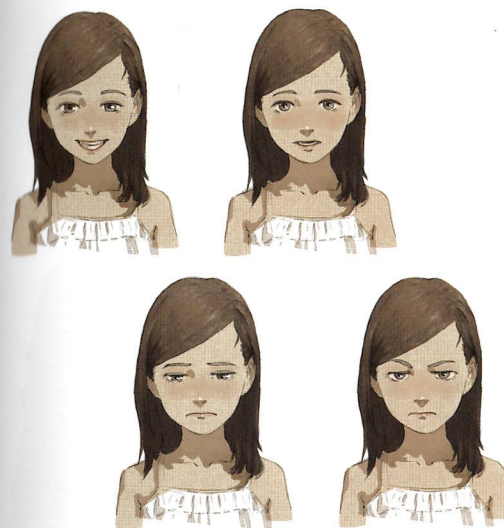
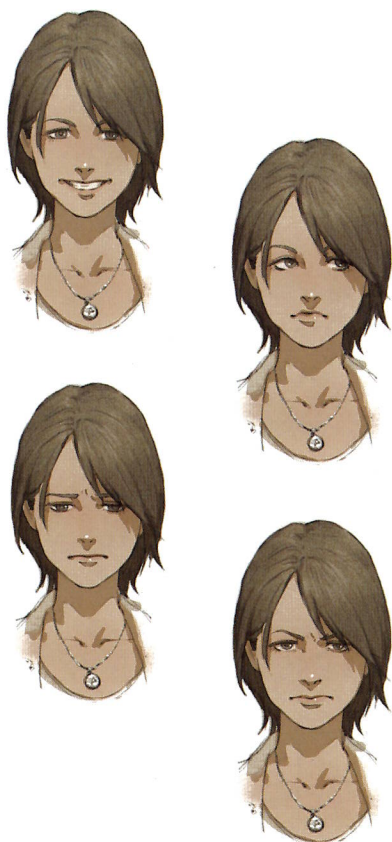
三郎の少年時代からの友人。
検事になるため、法学部で勉強をしている。俯瞰して考える事ができる秀才で人当たりが良く話やすい。父親は現ニューヨーク市長で、その影響か責任感が人一倍強い。

少年期 CV. 石川 界人

少年時代のレオ。
無口で大人びた性格をしているため、どこか冷たい印象を与えるクールな小学生。大人顔負けの頭脳を持ち、自ら思考して行動するため仲間内のリーダー的ポジションになることが多い。

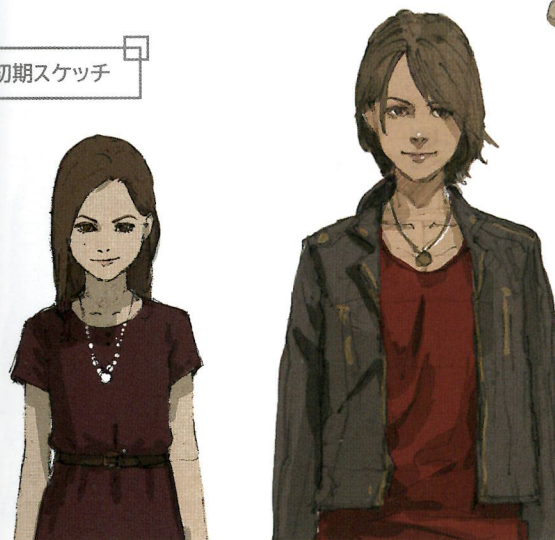
初期スケッチ

アビー（アビゲイル・シャンドラー）

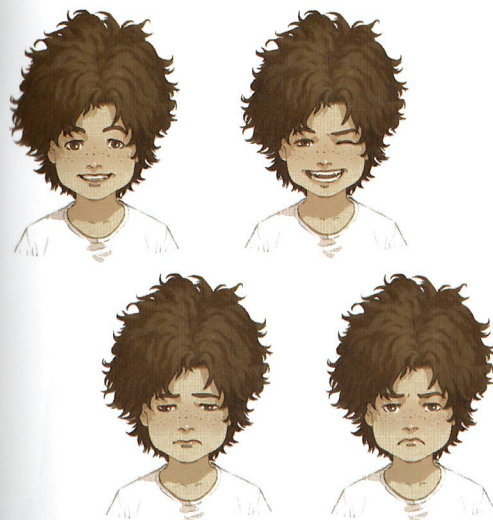
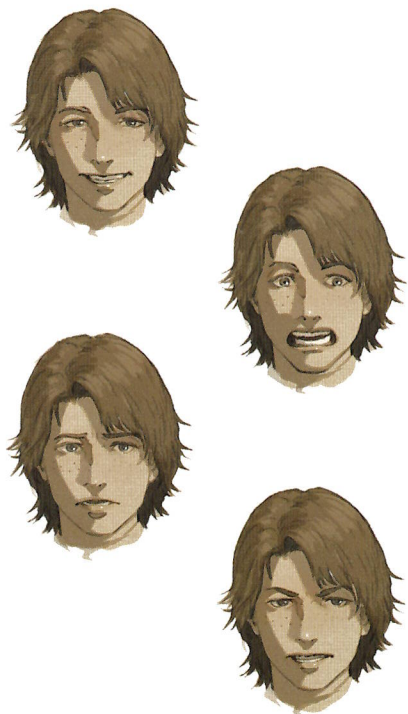
CV. 小林 愛香

三郎の少年時代からの友人。
大学では経済学を勉強している。しっかり者で、どこか抜けている３人をうまくまとめ上げる姉御的存在。
密かに三郎に想いを寄せる。

少年期 CV. 小林 愛香

少年時代のアビー。
そばかすが残るあどけない印象の少女。しっかり者でがんばり屋。
少しませた所があり、ベンに対して当たりが強い。
サマースクールでの一件から、三郎に対する恋心を自覚する。

初期スケッチ

ベン（ベンジャミン・ハリス）

CV. 白井 悠介

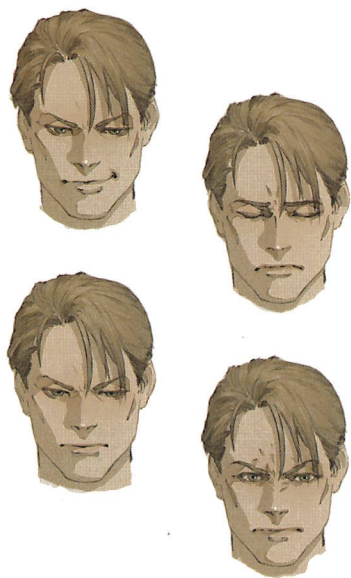
三郎の少年時代からの友人。
大学では文学と神秘学を勉強している。空気の読めない言動をするため、少年時代から変わらずイジラレ役に。だが、元来優しい性格のため、周囲を和ませるムードメーカーとなっている。

少年期 CV. 白井 悠介

少年時代のベン。
おっとりとした性格で独特な感性を持っている少年。父親からプレゼントされた日本のロボットアニメのTシャツを着ているが、どこかパチモン臭い。サマースクールのカウンセラーであるエマのことが好き。

初期スケッチ

ジョシュア

CV. 津田 健次郎

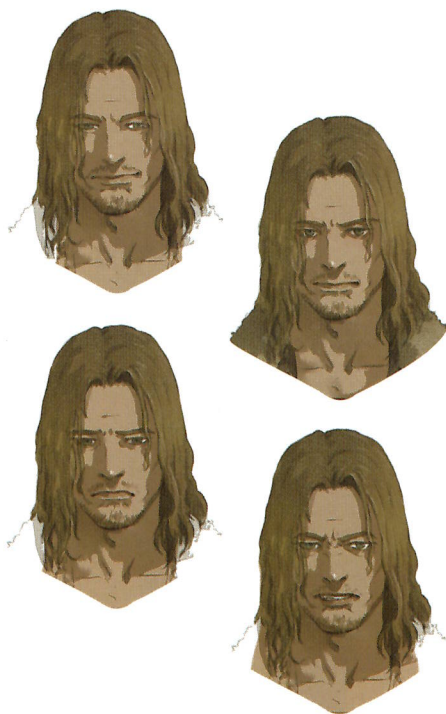
ニューヨーク市警の警察官。
生真面目な性格で、日本人をひどく嫌っている。

ハル

CV. 山下 誠一郎

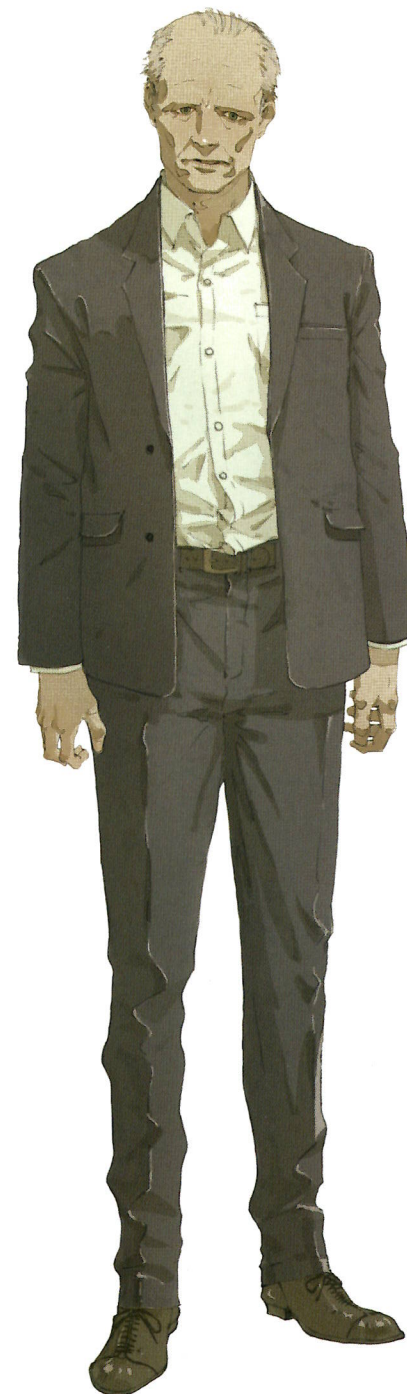
ニューヨーク市警の警察官。
深刻に考えすぎないマイペースな性格。

ダン

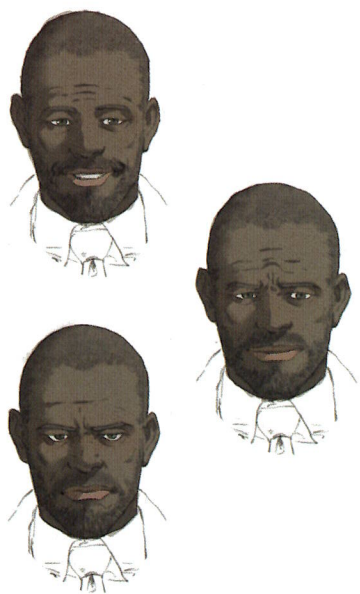
CV. 武内 駿輔

祖父京助の助手を務めていた。
以前は荒れていたが、京助に会い更生した。

ローガン

CV. 井上 和彦

元ニューヨーク市警の警察官。
1年前、妻と死別している。

マーキス

CV. 安元 洋貴

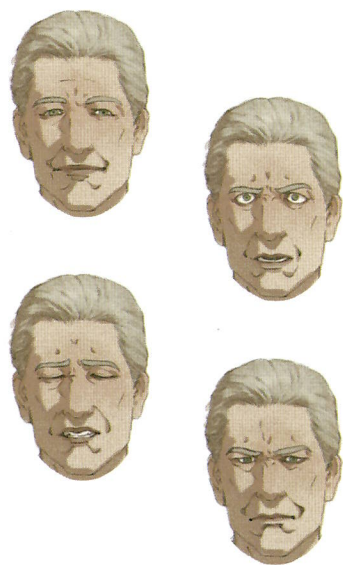
シルバースノー警察の署長。
正義感があり、住人からの信頼は厚い。

ジョージ

CV. 大塚 明夫

シルバースノーで働く電気工事技術者。
いつも街のどこかで飲み歩いている。

ライアン

CV. 中田 譲治

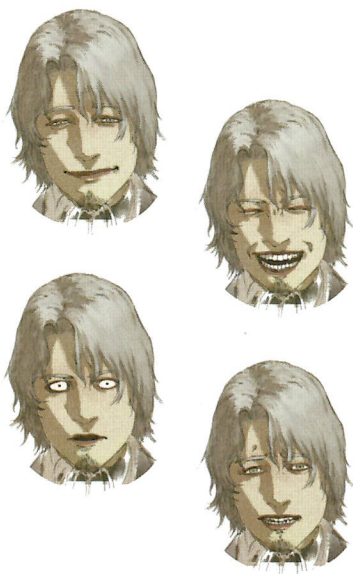
現ニューヨーク市長。
レオの父親でもある。

真木

CV. 杉田 智和

ニューヨークで小料理屋弁天を営む板前。
ダンの父親代わりでもある。

エルガート

CV. 石田 彰

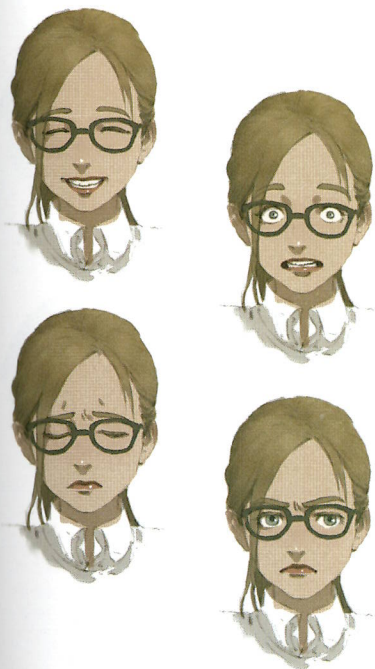
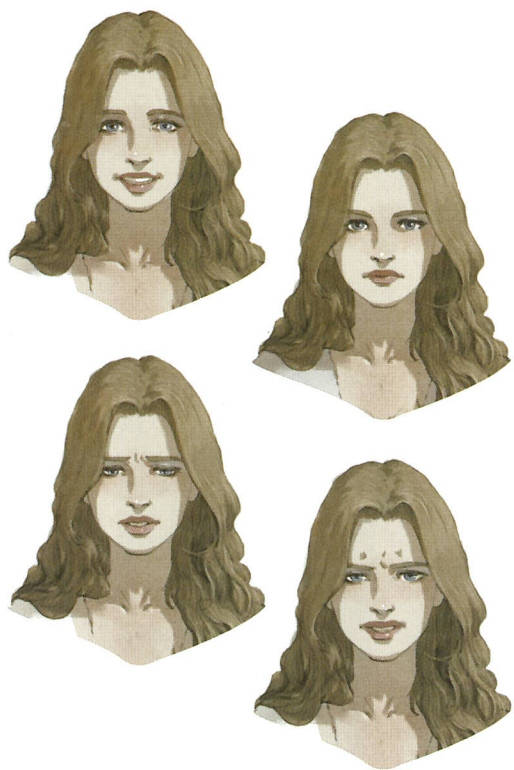
シルバースノーの過去を知る殺し屋。
殺人犯として刑務所に服役していた。

リチャード

CV. 目黒 光祐

神宮寺京助とは長年の友人関係にある。
ニューヨークでの京助の生き様を知る重要人物。

メリッサ

CV. 皆川 純子

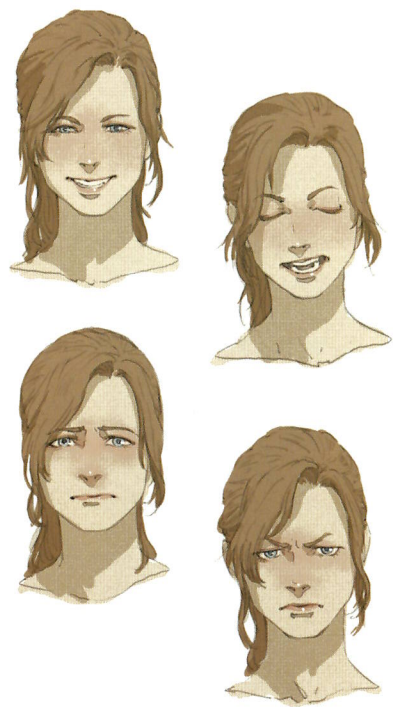
ダンの母親。
小料理屋「弁天」で働いている。

マリー

CV. 白石 晴香

シルバースノー図書館の司書。
見た目に反し、頑固な一面もある。

オリビア

CV. 森永 千才

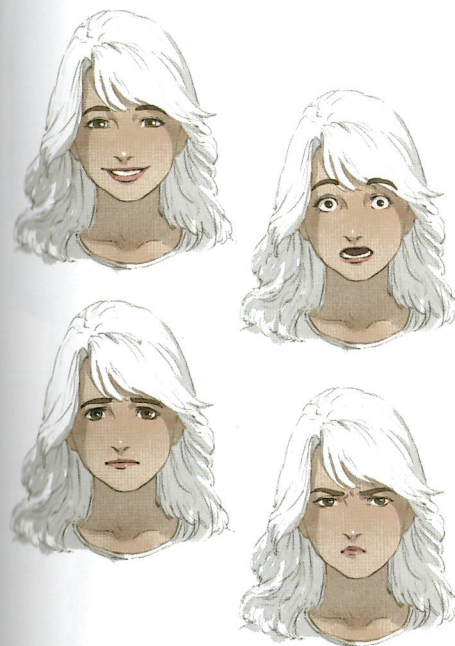
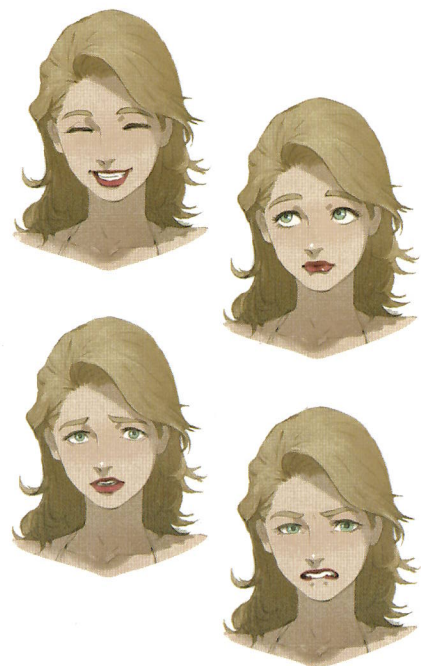
サマースクールのカウンセラー。
子供たちからも信頼されている。

メイソン

CV. 濱野 大輝

サマースクールのカウンセラー。
サーフィンと女の子が大好き。

リリー

CV. 田中 那実

サマースクールのカウンセラー。
オシャレが好きで、流行ものを好む。

エマ

サマースクールのカウンセラー。
普段はズボラだが、集中力が凄い。

トラヴィス

CV. 拝 慎之介

シルバースノーで働く電気工事技術者。
マーキスに恩義を感じている。

ボブ CV. 松本 保典

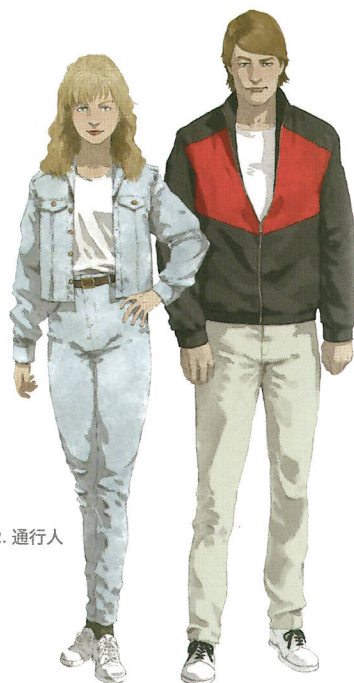
サマースクールで長年働く用務員。
自称50年間スクールを見続けてきた男。

バニスター CV. 松本 保典

シルバースノー教会の司祭。
すぐに聖書の聖句を引用する癖がある。

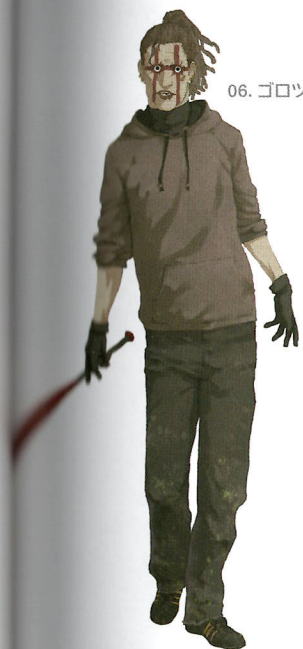
その他の人物

01. クリーニング屋店主

02. 通行人

03. カフェ店員

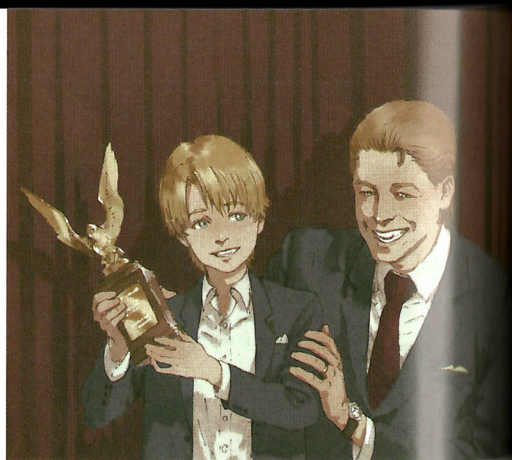
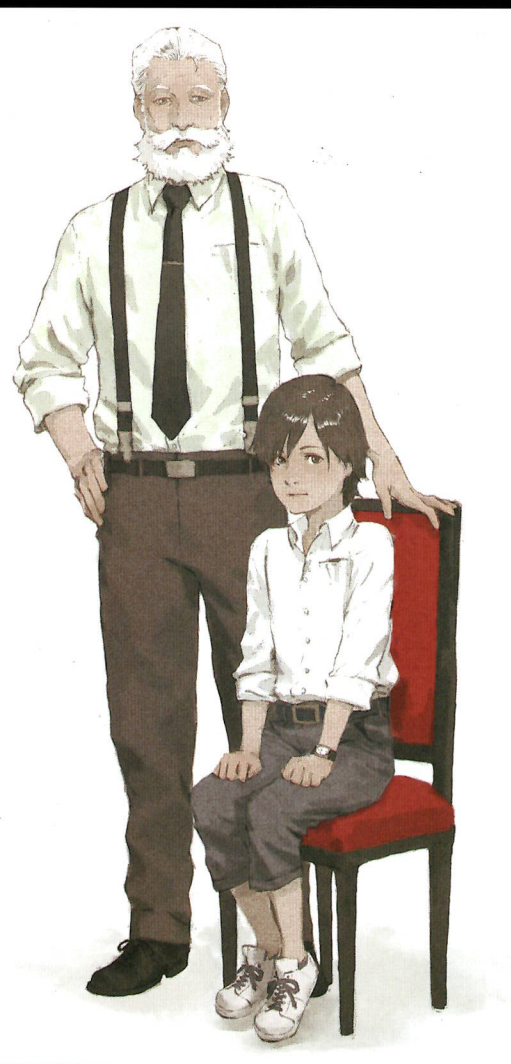
04. シルバースノーの住人

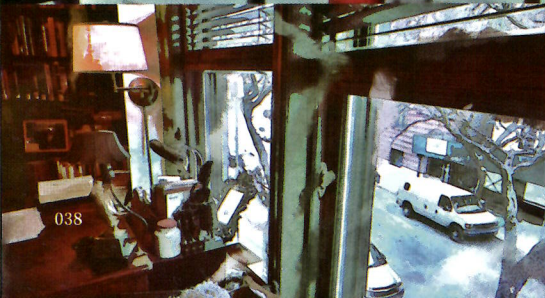
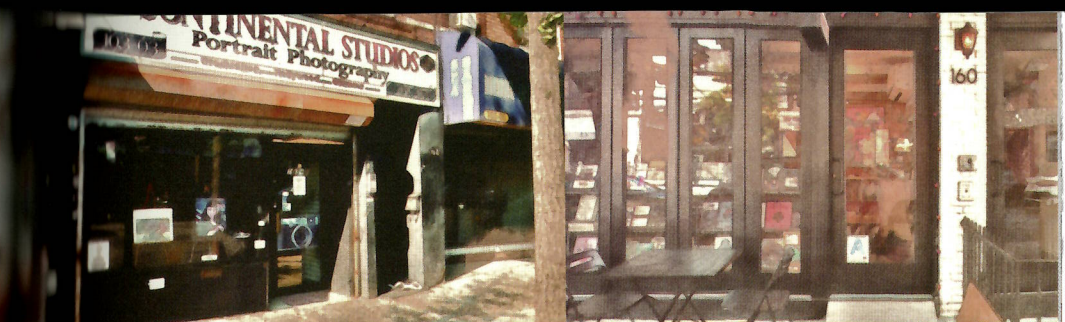
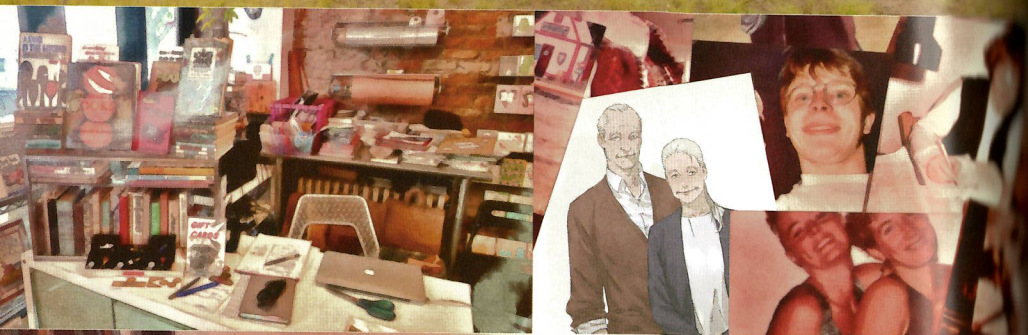
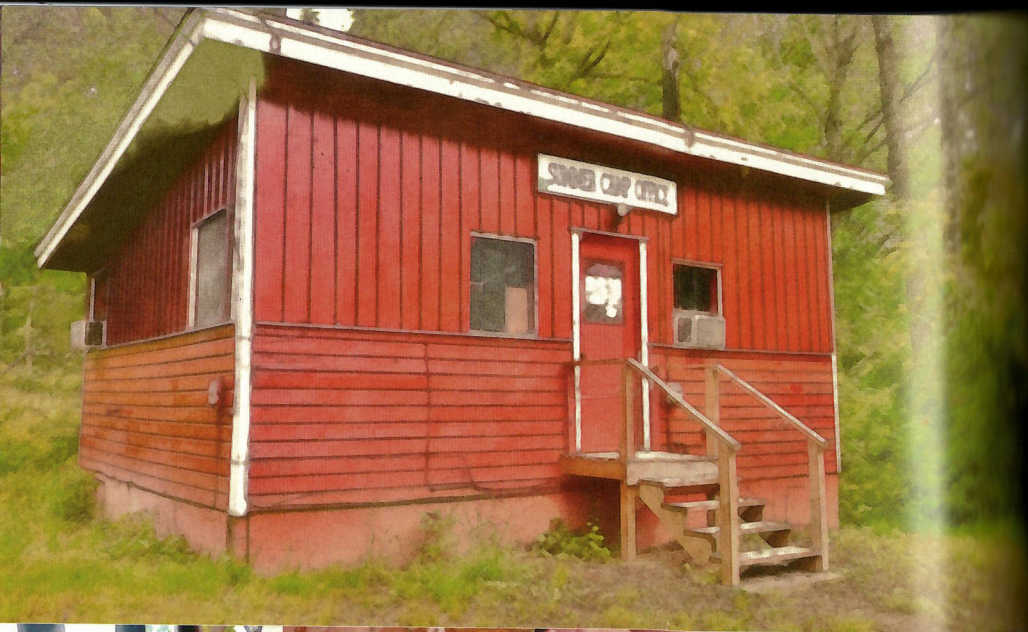
05. ホームセンター店員

06. ゴロツキ

07. ギャング

08. 警官

09. 写真屋店主

10. プロレスラー：マックス J

2章. 背景美術
BACKGROUND
DAEDALUS: The Awakening of Golden Jazz

MEXICAN
MANGOS
3/$5.00
SUNKIST
ORANGE
NTINENTAL STUDIOS
Portrait Photography
160

3章.コメント
COMMENT
DAEDALUS:The Awakening of Golden Jazz

デザイナーコメント

イラストレーター

禅之助

初めまして。本作にてメインビジュアル、キャラクターデザインをつとめさせて頂きました、禅之助と申します。
青年期の三郎の絵を見た時は驚いた方も多かったのではないでしょうか？
本作ではまだ未熟な主人公が皆さんの知っている「神宮寺三郎」になって行く様を想像しながらプレイしていただければと思います。

──メインビジュアルについての解説

青年期の三郎と京助の生きている時間が交錯するようなイメージです。
パッケージ版とは別に、駅内宣伝ポスターにはこの絵のロケーションを洋子やダン、ハルやジョシュア、アビー達が歩いているバージョンも描かせて頂いております。

おわりに

1987年4月24日に第1作「探偵 神宮寺三郎 新宿中央公園殺人事件」が発売されてから実に31年。
これほどのロングランシリーズになると当時の誰が思ったでしょうか。
しかしながら、重厚な世界観、人情溢れるシナリオ、一癖も二癖もある魅力的なキャラクター達、そしてシンプルながらも特徴的なシステムが相まって、ありがたいことに今なおアドベンチャーゲームの一旦を担う作品として広く愛されています。
本作「ダイダロス:ジ・アウェイクニング・オブ・ゴールデンジャズ」では、1998年4月23日発売のシリーズ屈指の名作「探偵 神宮寺三郎 夢の終わりに」の前日譚を描き、当時のシナリオライター稲葉洋敬氏の手により語られることの無かったシリーズの原点にスポットライトを当てています。
また、本作品では「シリーズのリブート」をキーワードに、積極的に新しい手法が取り入れられています。
キャラクターデザインを一新し、推理要素として「思考の樹」を導入、探索システムでは360度周囲を見渡せるなど、これまでに無かった演出にも挑戦しています。
従来作品から大きく変貌を遂げた本作品、「神宮寺三郎 新章」としてお楽しみいただければ幸いです。

See You In Next Trouble.

DAEDALUS:The Awakening of Golden Jazz 設定資料集